王寺町最低制限価格制度に係る取扱要領

第1 目的

この要領は、王寺町が発注する建設工事に係る入札について地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。)第167条の10第2項の規定に基づく最低制限価格を設けるために必要な事項を定め、ダンピングの防止及び公共工事の適正な施工の確保を図ることを目的とする。

第2 定義等

- 1 この要領において「最低制限価格制度」とは、競争入札による請負契約を締結しようとする場合において、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって有効な入札をした者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする制度をいう。
- 2 この要領において、当該入札が「王寺町建設工事等事後審査型条件付一般競争入札実施要綱」に基づき実施された工事にあつては、「落札者」とあるのを「落札候補者」に読み替えるものとする。

第3 王寺町最低制限価格制度対象工事

王寺町最低制限価格制度の対象工事は次のとおりとする。

- (1) 予定価格が5,000万円以上の競争入札により実施された全ての建設工事であつて、王寺町低入札価格調査制度の対象工事でないもの。
- (2) その他発注者が必要と認めた工事

第4 最低制限価格の設定及び算定

- 1 最低制限価格は、実施設計額の算出の基礎となる仕様書、設計書等により、事業担当課長が算定するものとする。
- 2 最低制限価格は、次に掲げる額の合算額に100分の110を乗じて得た額とする。ただし、その額が予定価格に100分の92を乗じて得た額を超える場合にあつては当該予定価格に100分の92を乗じて得た額とし、その額が予定価格に100分の75を乗じて得た額に満たない場合にあつては予定価格に100分の75を乗じて得た額とする。
 - (1) 直接工事費の額に100分の97を乗じて得た額
 - (2) 共通仮設費の額に100分の90を乗じて得た額
 - (3) 現場管理費の額に100分の90を乗じて得た額
 - (4) 一般管理費の額に100分の68を乗じて得た額
- 3 事業担当課長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず予定価格に100分の75を乗じて得た額から予定価格に100分の92を乗じて得た額までの範囲内で、最低制限価格を定めることができる。

第5 入札参加者への通知

入札執行者は、次の事項について公告するとともに、入札説明書及び入札通知書においても記載すること。

- (1) 施行令第167条の10第2項の規定に基づき最低制限価格制度を設定していること。
- (2) 最低制限価格を下回った入札を行った者(以下「失格者」という。)は落札者とならないこと。
- (3) 失格者は、当該入札に係る落札者がいない場合における再度の入札に参加できないこと。

第6 落札者の決定

- 1 最低制限価格を設定した競争入札を行う場合において、予定価格の制限の範囲内で最低制限価格以上の価格をもって入札した者があるときは、当該者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者として決定するものとする。
- 2 前項の場合において、最低制限価格を下回る価格の入札があったときは、最低制限価格を下回る入札があったことの宣言を行うものとする。

第7 補則

この要領に定めるもののほか、最低制限価格制度の実施について必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要領は、令和7年4月1日から施行する。